

1. 酒匂川を二級河川から一級河川に

開成町の側面を流れる酒匂川は、神奈川県知事が指定した二級河川であり、町内を流れる仙了川、要定川と同様の河川である。一級河川と二級河川の違いは川の大きさや長さではなく、河川法により国土保全上又は国民経済上特に重要な水系で、政令で指定された一級水系に係る河川で、国土交通大臣が指定したものを一級河川という。しかしながら一級河川に指定されていない酒匂川は十分に一級河川に値すると考える。

開成町において最大の懸案事項は洪水対策であり台風 19 号においては、近隣市町では唯一避難勧告が発令されなかったが、広域避難所に自主避難した町民は 318 人もいた。開成水辺スポーツ公園でも冠水被害があり、台風 19 号は、全国的に見ても洪水の恐ろしさをまざまざと見せつけた。

今後もこのような洪水に対しての対策は十分していくべきであるが、河川において県の管理と国の管理ではおのずから規模も内容も違っているのは歴然としている。

昨今の台風や大雨に対して、町民の生命・財産を守るためにも国が管理する一級河川にすべきである。近隣の市町と広域連携を図り一級河川へ格上げを要望してはと考えるが町の見解は。